

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp

◆ 目次 ◆

- 活動報告！
- 世界寺子屋運動／箕面ユネスコ版
- お知らせ

♪ホームページ折々に更新中！

「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

●民間ユネスコ運動創立70周年記念

2017 近畿ブロック・ユネスコ活動研究会兼わかやまユネスコ・コンGRES！開催

箕面ユネスコ協会からも8名参加しました～★★★



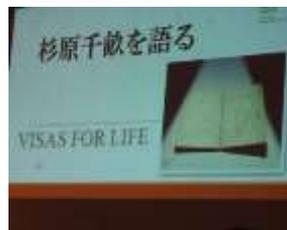
2017年近畿ブロック・ユネスコ活動研究会は10月14日(土)和歌山県粉河ふるさとセンターで開催されました。和歌山県立粉河高校等による『ESDとkokoro塾学びの郷』の取り組み報告等があり、午後からはNPO 杉原千畝命のピザ理事長、杉原美智さんによる『杉原千畝の生涯を語る』の記念講演がありました。

その後、ユネスコ国内委員報告は箕面ユネスコ協会顧問である国内委員の中西正人さんが行い、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟による「民間ユネスコ創立70周年を記念しての提言」の中では、近畿ESDコンソーシアムに参加する地域ユネスコ協会として、箕面ユネスコ協会大浜、坂口が「地域ユネスコと学校の連携」「いのちの大切」「人権の大切」

を被災地支援を通して学ぶ箕面市立とどろみの森学園での取り組みの報告をしました。

参加者の声

杉原千畝さんが残した「私のしたことは外交官として間違ったことだったかもしれない。しかし私に頼ってきた何千人もの人を見殺しにすることができなかった。」の言葉。領事館の前で並ぶ多くのユダヤの難民を見て、くださった彼の決断は首になってもよい、ユダヤの難民の命を守ることを選択したことは、「命の大切さ」



「人権を守る」ための決断であり、心より感動し、自分たちの活動に通じることであることを再認識したとの感想が多くありました。

(坂口 一美)



●近畿ブロック・ユネスコ活動研究会 その2

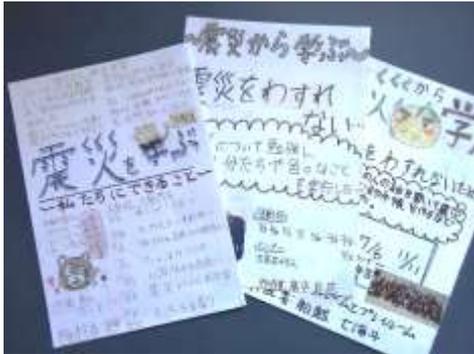


日本ユネスコ国内委員会からの報告では、箕面ユネスコ協会顧問も引き受けていただいている中西正人さんから、ユネスコ活動の‘今’について、教えていただきました。新しい学習指導要領の中で、ユネスコがめざすESD が大切な柱になっていることにも触れられ、民間ユネスコ運動を進める道筋が示されました。

日本ユネスコ協会連盟の尼子美博さんからは、「民間ユネスコ創立 70周年を記念しての提言」として、次の3つの活動の紹介がありました。

- ①ユネスコ青年部の活動(奈良ユネスコ協会青年部より)
- ②子どもたちをつないだ子どもキャンプ活動(和歌山ユネスコ協会より)
- ③学校と連携した地域ユネスコ活動(箕面ユネスコ協会より)

箕面ユネスコ協会は、さまざまな活動を通して、学校と連携させていただいています。その中から、昨年度1年を通して協働させていただいた箕面市立とどろみの森学園との活動をビデオも交えて紹介させていただきました。子どもたちが1年をまとめたリーフレットには、『よかったことは3つあります。1つ目は、自分たちでできることをたくさん考えて、その中でいくつかの事を実行できたことです。2つ目は、



先生たちやお家の人たちに

震災の事などを伝えることができたことです。3つ目は、何事もみんなで支え合い協力してできたので、前よりももっとたくさんの人との仲が深まったことです』等、一人ひとりの抱いた達成感が豊かに記されていました。今回の報告では、そんな子どもたちの思いをみなさんに知っていただくことができました。ご指導してくださった先生方、協力していただいた方々に、改めて感謝したいと思います。(大濱 淳子)

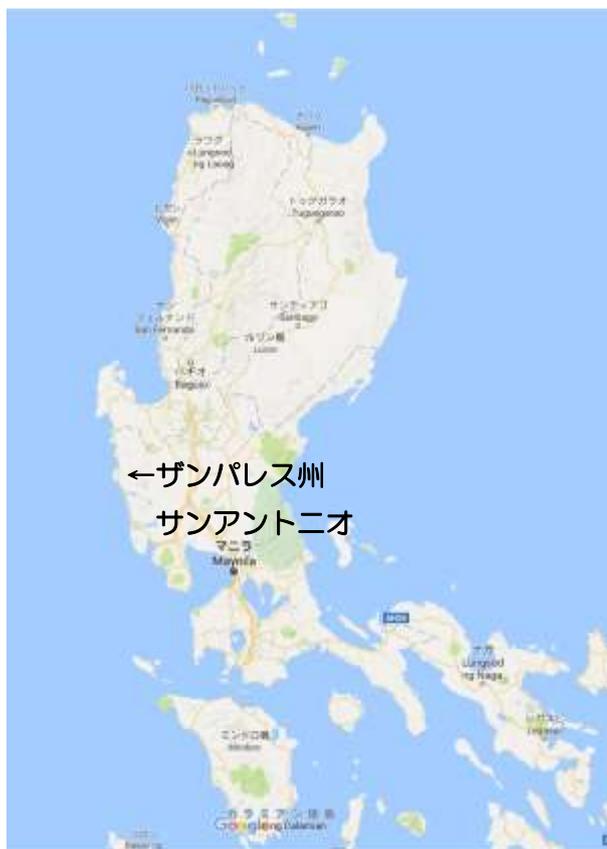
●ゆるやかにつながるネットワーク！スタディツアーに参加して

箕面市人権啓発協議会男女協働参画啓発研究部会企画

9/17(日)～9/19(火) 箕面市人権啓発協議会 男女協働参画啓発研究部会(通称女性部会)企画の沖縄スタディツアーに参加しました。今回のツアーの趣旨は*沖縄の現実から目をそらさず、今できることをする。*マスメディアが伝えない沖縄を自分たちの目や耳で確かめる。*沖縄の問題はすべて基地問題と密接につながる。「沖縄の基地と暴力(性暴力)、女性の人権」の学びの機会とすることでした。箕面市人権啓発協議会による「被災地義援活動」のコーディネートをこれまで4回行なってきましたが、女性部会の皆さんの企画に参加することで、沖縄のことを学ぶチャンスと捉えました。南城市系数壇(アプチラガマ) 辺野古での聴き取り行動、「すぱーす・結(ゆい) 上野さやかさん(おきなわCAPセンター事務局長)、高里鈴代さん(沖縄REIKO 共同代表、基地軍隊を許さない行動する女たちの会)から「女たちの会」の活動、REIKOと被害者支援の活動について、聴き取りを行い、ひめゆりの塔へも行きました。これまでぼんやりと認識していたものが、明確になり、現地へ行き現地の人のお話を聞くことの重要性を感じました。



●世界寺子屋運動 箕面ユネスコ版 -7-



8月20日 関空を昼出発のジェットスターでマニラ国際空港へ出発した。今回でフィリピンは10度目の訪問である。3時間後、ホームステイ先のバラウロさんと家族5人が、いつもの到着出口で迎えてくれた。マニラに1泊し、翌日は動物園など市内観光をしたが、電車を見るのが初めてなど興味深いもので溢れていたため、連泊になった。翌々朝、長距離バスでザンパレス州のサンアントニオに向かった。ハイウエーを抜けるころは、米畑、マンゴー農場、トウモロコシ、サトウキビ畑の中をバスは走り6時間かかりで到着した。

ザンパレス州サンアントニオからシクロというサイドカー風のタクシーに乗り換え、30分ほどでホームステイ先、ウエストリーリタ村に到着。その村は元米軍基地内にあり、村は大きな木に隠れるように存在している。アメリカ軍が引き上げてから仕事がなくなり、村全体が貧しい生活を余儀なくさせられている。

今回は雨季でもあり、活動は制限された。

山岳地帯の子どもたちを訪ねることは出来なかったが、ステイ先の子どもが通う町の学校に訪問した。ステイ先の子がソフ



トボールクラブに入部しているので、クラブの応援に出かけたり、前回の訪問で作っていた家庭ガーデンの様態替えをしたりして過ごした。原っぱで遊ぶ村の子どもたちにグローブやバットのささやかな道具をプレゼントし、いつもの笑顔に出会えた。

貴重な雨の合間は、牛やヤギの放牧されている草原で家畜の仲間入りをしたり、ゴルフのクラブを振ったりして過ごした。次回訪ねるときは、子どもたちと仲良くなれるツールでもある学用品を届けようと思う。

(中嶋 嘉伸)

●被災地とつながる「自分たちに何ができるか」を応援する その1

■2017年大阪志学台レオクラブ 9/1(金)~9/4(月)

◀ 東北復興支援レオ派遣ボランティア事業 ▶



青少年育成に力を注いでいるライオンズクラブが、若いレオたちの強い希望を叶え、被災地の現状と復興を現地体験できるよう学ぶ機会を提供してきています。箕面ユネスコ協会が、この取り組みのコーディネートを依頼され3年目となります。今年は、新しく活動を始めた東北福祉大レオクラブと、大阪志学台レオクラブの交流や合同のボランティア活動を行うことが目的としました。仙台高砂市



民センター近くの「海の杜水族館」周辺の清掃活動をはじめとし、宮城県名取市関上や仙台空港、岩沼市、石巻市北上町の大川小学校、間もなく閉鎖となる、にっこりパーク仮設住宅など、熊本、福岡などまさに支援の必要なところがあるなかで、宮城に入りました。

●被災地とつながる「自分たちに何ができるか」を応援する その2

■和泉市コーラスグループ「ぶどうの木」 9/15(金)～9/18(月)

◀ 東北復興支援事業 ▶



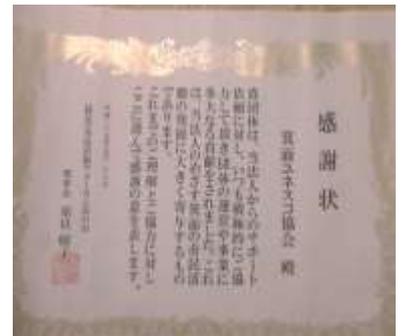
大阪府和泉市のコーラスグループ「ぶどうの木」の皆さんと市民活動センターの職員で箕面市の三味線の達人篠山さんと、南三陸町にある特別養護老人ホーム慈恵苑さんでミニコンサートを開催しました。慈恵苑は震災で大きな被害を受けましたが2年前に場所を移して再開されました。入所者



の方50名ほどが参加していただき、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。もちろん、気仙沼大島ではボランティア活動も行いました。

◎感謝状をいただきましたー……ありがとうございました

「市民活動フォーラム箕面」より感謝状をいただきました。これからも東日本大震災を「忘れない」ための活動を継続的に行っていきます。今後も益々、市民活動センターを拠点とする多くのNPOや市民活動団体とゆるやかなネットワークづくりと協働する活動を行ってまいります。



箕面ユネスコ協会からのお知らせ！

第4回「3.11を忘れない」 気仙沼の食材と お酒を楽しむ 会！

第4回「気仙沼の食材お酒を楽しむ会&熊本支援」

平成30年2月10日(土曜日) 【講演】17時から 【食を楽しむ会】18時スタート。

「らいとぴあ21」で開催！

東北の珍味や新鮮な魚介類を食べながら、楽しい美味しい交流会を開催いたします。是非多くの方々のご参加をお待ちしております。詳細は次号にてお知らせいたします！



★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンズ遺産ダンス」のムービー編「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています！

